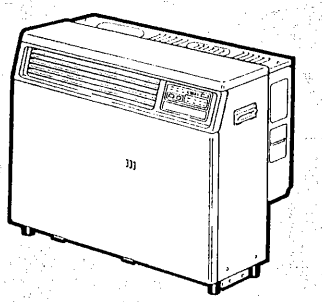
MITSUBISHI

三菱〈強制給排気式ガスストーブ〉クリーンヒーターエアコン

VGC-5501DF
取扱説明書

お客さま用



このたびは三菱クリーンヒーターエアコンをお買い求めいただき、誠にあらがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役だてください。

特にご注意いただきたいこと

- お客さまご自身による工事は危険です。設置工事は必ず専門家にご依頼ください。
  （畳替えやじゅうたんの張り替えなどで器具を移動する場合も同じです。）
- 排ガスは専用の給気・排気部品を使って必ず屋外に出しましょう。
- 排気筒が外れていると危険です。

目次

1. 各部の名称……
2. 特に注意していただきたいこと……3
3. 器具の設置……
4. 使用方法

基本の取扱い
- 暖房時
  - ●ご使用前の準備……9
  - ●特に注意していただきたいこと……9
  - ●運転開始（点火）……10
  - ●運転停止（消火）……11
- 冷房時
  - ●ご使用前の準備……
  - ●運転開始……
  - ●運転停止……
- ドライ
  - ●運転開始……14
  - ●運転停止……14

応用の取扱い
- 暖房時・冷房時
  - ●室温の調節（温感コントロール）……
  - ●室温の調節（設定温度を変えたいとき）……
  - ●セーブ運転のしかた……
  - ●時刻合わせのしかた……
  - ●「おやすみタイマー」運転のしかた……
  - ●「おはようタイマー」運転のしかた
    - 暖房時……
    - 冷房時……
  - ●「おやすみタイマー」と「おはようタイマー」を同時に運転するしかた……
  - ●風量切換のしかた……
  - ●風向き調節のしかた……
  - ●停電後の使用方法……

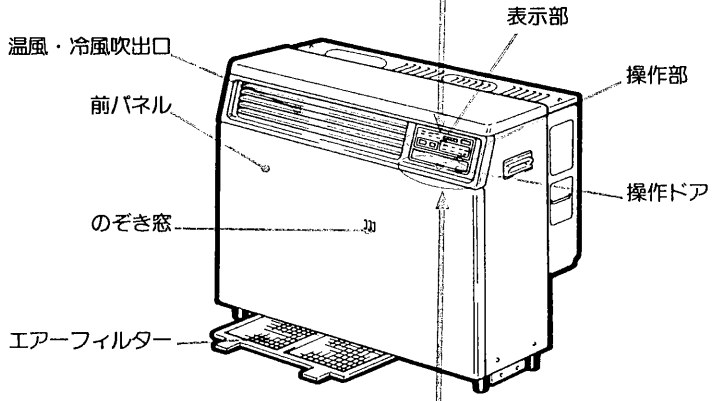
5. 日常の点検・手入れ……25
6. 故障・異常の見分けかたと処置方法……
7. 長期間使用しない場合・部品交換のしかた……
8. 仕様……
9. アフターサービス……33
10. 定期点検……35
11. 設置工事後の確認と試運転……

9404R588HF6301

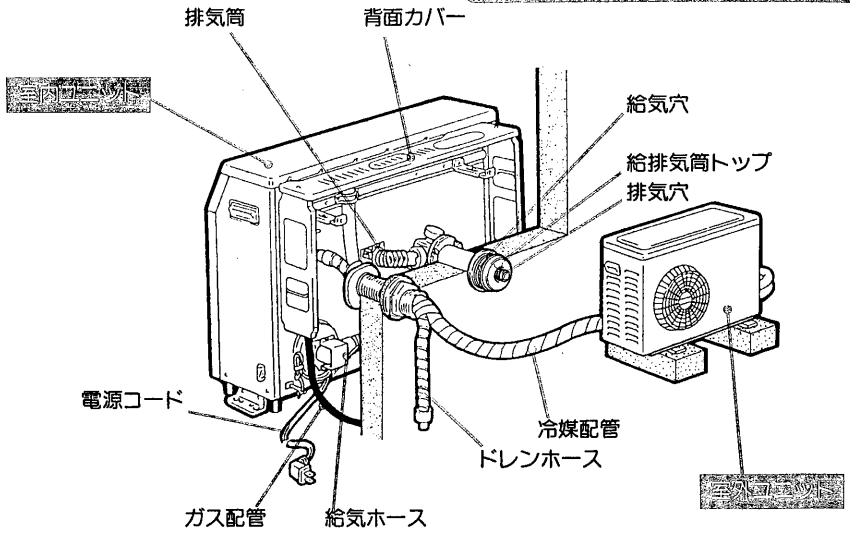
1 各部の名称

外観図

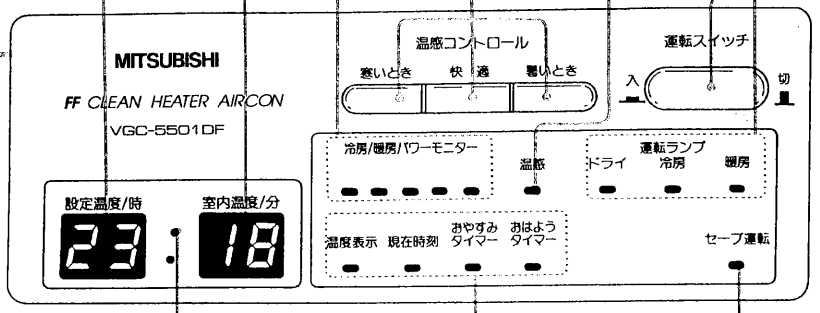
室内ユニット



室外ユニット



表示部



表示部
設定温度、室内温度、時・分を表示また、異常のときはエラーモード(故障・異常状態)を表示します。

冷房/暖房パワーモニター
点灯：5個点灯 強運転中 〜 〜 1個点灯 弱運転中

温感ランプ
温感コントロール運転中点灯します。

運転ランプ
暖房、冷房、ドライ運転中点灯します。

時刻表示ランプ
- 時刻表示のとき点滅します。
- おはようタイマー運転中は点灯します。

温度表示ランプ	現在時刻ランプ	おやすみタイマーランプ	おはようタイマーランプ
設定温度、室内温度を表示のとき点灯します。	時・分を表示のとき点灯します。	おやすみタイマー運転中点灯します。	おはようタイマー運転中点灯します。

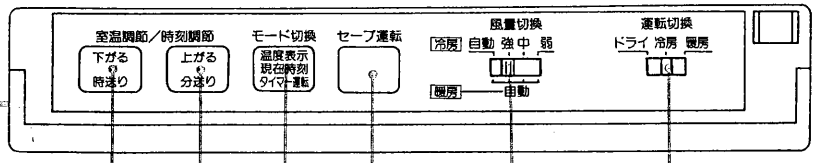
セーブ運転ランプ
セーブ運転中点灯します。

操作部

温感コントロールスイッチ

寒いとき	快適	暑いとき
現在の室温より暖房は2℃、冷房は1℃上がります。	現在の室温が維持されます。	現在の室温より暖房は2℃、冷房は1℃下がります。

運転スイッチ
運転開始および運転停止に使用します。



室温調節/時刻調節ボタン
設定温度、現在時刻、おはようタイマー、おやすみタイマーの設定に使用します。
温感コントロールの解除に使用します。

モード切換ボタン
温度表示、現在時刻、おはようタイマー、おやすみタイマーの切換えに使用します。

セーブ運転ボタン
押すと設定温度が徐々に変わります。ただし、設定温度表示は変わりません。

風量切換スイッチ
暖房時、自動
冷房時、自動・強・中・弱の切換えに使用します。

運転切換スイッチ
暖房、冷房、ドライの切換えに使用します。

2 特に注意していただきたいこと

使用ガス・電源についてのご注意

❶使用ガス種・電源(電圧・周波数)の確認

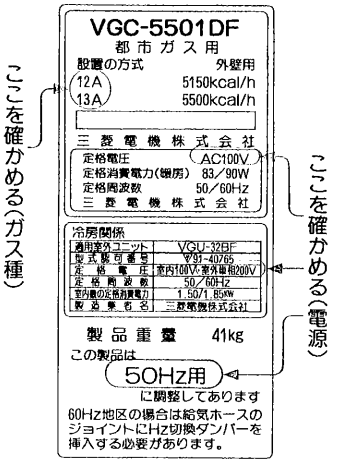
室内ユニット(銘板)に表示してあるガス種・電源(電圧・周波数)以外の使用はできません。

●ご使用のガス種が不明、または室内ユニットの表示と一致しない場合は、お買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご相談ください。

〔ご注意〕

●銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）でも指定されたガス会社（カタログに表示）のガス以外は使用できません。

室内ユニット右側銘板(例)



❷転居される場合

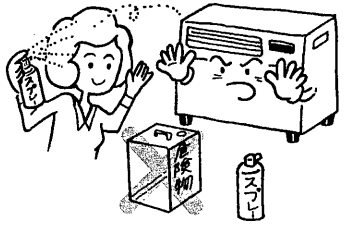
ガスグループ・ガス会社・電源周波数が異なる地域へ転居されるときは、調整または改造の必要がありますので、お買い求めの販売店、または転居先のガス供給業者(ガス会社)へご相談ください。

火災予防

❶引火物は近づけない

室内・室外ユニットや給排気筒トップの周囲には危険物(ガソリン・シンナーなど引火しやすいもの）が絶対にないようにしてください。
また、室内ユニットから２ｍ以内で、ヘアースプレーなどの引火物を使用したり、スプレー缶などを温風のあたるところに放置しないでください。

●火災や部品の劣化の原因となります。

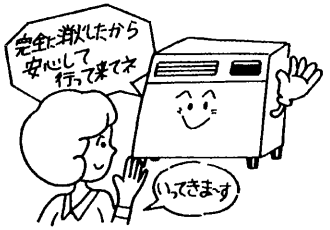


火災予防(つづき)

❷外出するときは必ず消火

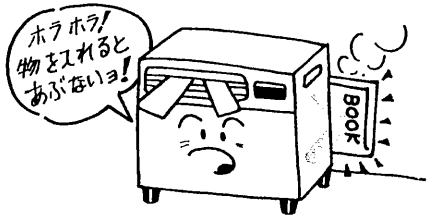
お出かけのときは、必ず消火してください。

●運転スイッチを「切」にしてください。



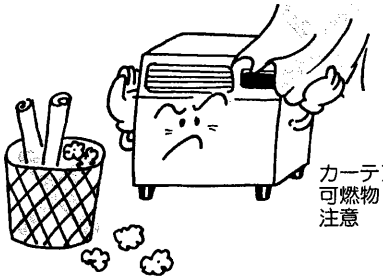
❸温風・冷風吹出口や室内ユニットの背面にものを入れないで

●煙が出たり、火災の原因になったり、けがや器具の故障の原因になります。



❹カーテンや燃えやすいもののそばなどでは、使用しないで

●カーテンが変色したり、火災の原因になります。



❺燃えやすいものに注意

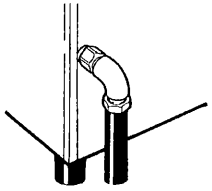
室内ユニットの上や周囲は常に整理、清掃し、燃えやすいものを置かないでください。また、水などがかからないようにしてください。

2 特に注意していただきたいこと(2)

ガス事故防止

●ガスの接続

ガス管は規定の強化ガスホースか金属管接続が必要です。お買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)が行いますので依頼してください。



❶部屋のガス元栓を閉めて

使用されないとき、外出の際は、部屋のガス元栓を必ず閉めてください。

❷ガス漏れの点検

室内ユニット内部やガス管および接合部などから、ガス臭くないか、ときどき点検してください。

- 万一、ガス漏れに気づいたときは、部屋のガス元栓を閉じて窓や戸を開けガスを外へ出してからお買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご連絡ください。

〔ご注意〕

- 万一、ガスが漏れたときは、すべての処置が終わるまでの間、火をつけたり室内ユニットの運転スイッチの「入・切」や、電気器具(換気扇・その他)のスイッチの「入・切」および電源プラグの抜き差しなどを絶対にしないでください。火花で引火し、爆発事故をおこすことがあります。

使用上の注意

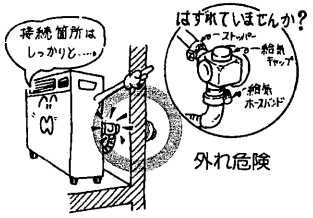
❶排ガスの漏れに注意

給排気筒(管、ホース)が正しく接続されているか確認してください。

外れていると運転中に排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。

排気筒などに穴あきがないか、ストッパーが外れていないか、ときどき点検してください。

(25ページ参照)

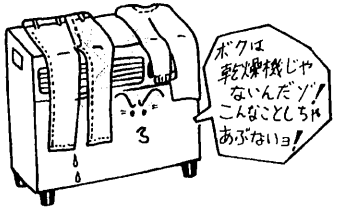


使用上の注意(つづき)

❷衣類の乾燥などはやめて

衣類の乾燥などには使用しないでください。

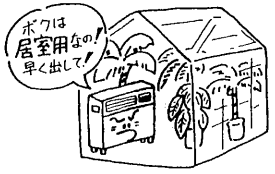
- 衣類などを室内ユニットの上に置いたりすると、温風の吹出口がふさがれて室内ユニットが変形したり、内部に熱がこもり故障の原因となります。
  また、異常高温となり火災のおそれがあります。



❸居室以外での使用は避ける

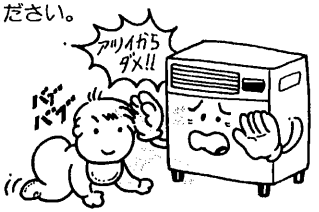
室内ユニットは居室の冷暖房用としてつくられたものですので、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。また、クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。

- 化学薬品などの影響により不完全燃焼や故障の原因になります。



❹やけどに注意

暖房運転中、温風・冷風吹出口は高温になりますので、触らないでください。
特にお子さまを室内ユニットに近づけないでください。



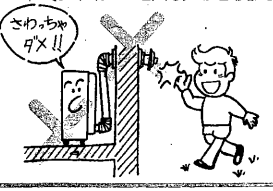
❺温風を長時間、直接身体にあてない

- 脱水状態になったり、低温やけどの原因になります。特に、体力のない病人・乳幼児・お年寄りには、まわりの人が注意してあげてください。

❻排気筒、給排気筒トップに注意

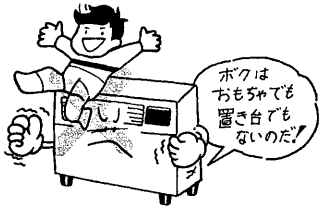
排気筒、給排気筒トップは高温です。やけどに注意してください。

- お子さまが排気筒、給排気筒トップのそばへ近づかないよう注意してください。トップガード(システム部材)をご使用ください。



❼器具の上に腰かけたりものをのせない

- やけどをしたり、器具の変形や給排気筒トップが外れ危険です。



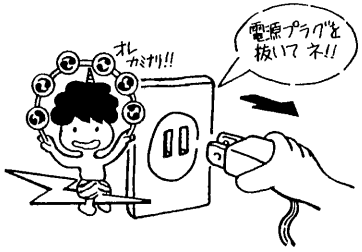
2 特に注意していただきたいこと③

使用上の注意（つづき）

⑧雷雨時の注意

雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

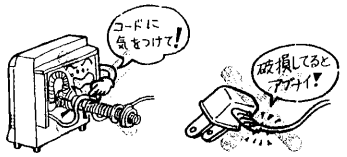
- 激しい雷の影響で室内ユニットが故障するおそれがあります。



⑨電源コードや電源プラグの点検

ご使用になる前には、必ず電源コードや電源プラグを点検してください。

- 電源コードが排気筒など、高温部に触れないよう、ご注意ください。
- 電源コードや電源プラグはいたんだまま使用しますと、やけど、感電、火災などの原因になります。



⑩必ず電源を切る

長時間留守にするときは、必ず電源プラグを抜いてください。

- 電源プラグは送風が停止してから抜いてください。

⑪給排気筒トップの付近にものを置かない

給排気筒トップの付近に犬猫など愛がん動物を近づけないようにしてください。また、植木なども置かないようにしてください。

- 事故がおこったり、木が枯れたりする原因になります。

異常時の処置

●異常時にはあわてず消火 地震があったり、その他異常を感じた緊急の場合はあわてずに消火してください。

運転スイッチを「切」にし、部屋のガス元栓を閉めてください。

- 地震のあとご使用になる場合は点検してからご使用ください。（詳しくは35ページ参照）

異常時あわてず消火

3 器具の設置

お客さまご自身では設置しないでください。（事故の原因となります。）

設置場所の選定

■室内ユニットの設置は販売店が「ガス機器の設置基準（ガス消費機器設置基準調査委員会編）」にもとづき、行っております。
設置工事が完了後、36～37ページを参照し、お客さまご自身で確認してください。

■電源

- 室内ユニット……通常のコンセント（単相100V）をお使いください。
- 室外ユニット……専用の電源工事（単相200V）が必要です。

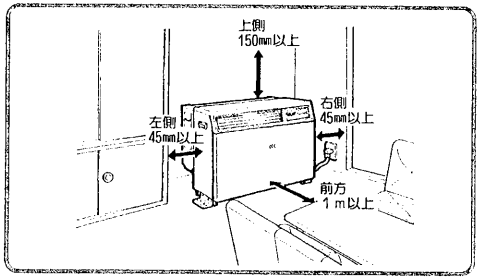
標準設置例（器具と周囲との距離）

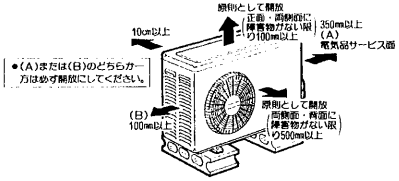
■室内ユニットを設置する場合は、火災予防のため、「ガス機器の設置基準（ガス消費機器設置基準調査委員会編）」に定められた寸法および定期点検、給排気回りの点検、アフターサービスを行うために必要な下記の空間寸法を必ずとってください。

（ご注意）

- 室内ユニットの裏面には必ず背面カバーを取付けてください。
- 背面カバーと壁との間はすき間をあけないでください。
（カーテンや紙などが入りますとこげたり、においなどの原因となります。）
- 部屋のガス元栓の開閉、電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください。

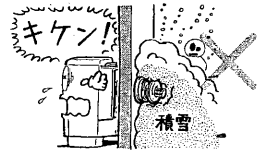
■室外ユニットを設置する場合は、冷房能力が低下しないよう、右図の寸法がとれる位置に設置してください。





給排気筒トップが雪に埋れないように

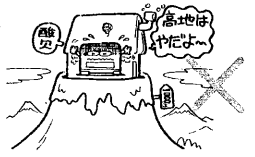
- 給排気筒トップが雪に埋れたり、積雪で囲われたりすると★運転できなくなったり、爆発的に点火して器具が故障することがあります。



高地での使用について

標高1500m以上の場所では使用できません。

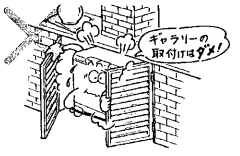
- 空気不足により運転停止したり、不完全燃焼の原因になります。



ギャラリーの取付けについて

温風吹出口前方にギャラリー（格子）を取付けないでください。

- 室温調節が正しく行われないうえ、高温となり火災の原因となります。



4 使用方法(1)（暖房）

クリーンヒーターエアコンは暖房・冷房・ドライと3通りの運転ができます。

暖房時の使用方法

●給排気接続箇所の点検

シーズンはじめに給気ホース、排気筒が正しくしっかりとつながっているか、確認してください。
（25～26ページ参照）

ご使用前の準備

❶電源プラグをコンセントに差込んでください。

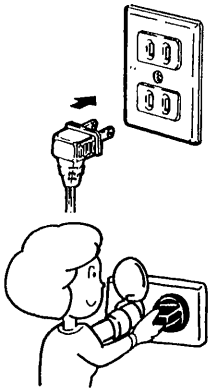
〔ご注意〕

- 電源プラグやコードは、ぬれた手で触れないでください。

❷部屋のガス元栓を全開にしてください。

〔ご注意〕

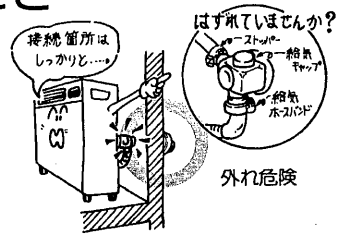
- ガス元栓を開く際には、他の器具のガス元栓を誤って操作しないでください。
- ガス元栓で火力調節は行わないでください。不完全燃焼の原因となります。



●特に注意していただきたいこと

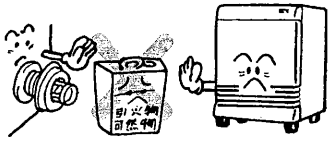
● 給排気筒接続の確認

- 給排気筒が正しく接続されているか確認してください。
  外れていると運転中に排ガスが漏れ大変危険です。
  （25ページ参照）



● 室内・室外ユニット周辺の確認

室内・室外ユニットの周囲および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物を置かないでください。



暖房時、基本の取扱い〈設定温度22℃自動運転方法〉

クリーンヒーターエアコンは運転スイッチを押すだけで設定温度22℃の自動運転をしますので、次の手順に従って運転してください。

●運転開始（点　火）

（運転スイッチはゆっくり押して「入」にしてください。早く押すと誤動作し、運転しない場合があります。）

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	操作ドアを開けて運転切換スイッチを「暖房」に切換えます。	運転切換 ドライ 冷房 暖房	設定温度／時 室内温度／分 －－ ： －－	
2	運転スイッチを押し「入」にします。 ●点火後、パワーモニターランプが点灯し、すぐに温風・冷風吹出口より微風がでます。	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 室内温度／分 22 ： 10	温度表示 運転ランプ 暖房
3	やがて室内温度を自動的に22℃に保ちます。		設定温度／時 室内温度／分 22 ： 22	運転ランプ 暖房

●運転停止（消　火）

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	運転スイッチを押し「切」にします。 ●温風はしばらくすると自動的に止まります。	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 室内温度／分 －－ ： －－	

〔ご注意〕

- 温風は一度停止してもしばらくして再度出る場合がありますが、異常ではありません。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、元電源（ブレーカー）を切ったりして運転を停止しないでください。器具が過熱し故障の原因になります。

4 使用方法(2)（暖房）・（冷房）

こんなときは故障ではありません

★運転開始した後や運転中、あるいは運転停止した後にも**金属音がすることがあります。**これは燃焼部分の金属が膨張、収縮するときの音で異常ではありません。

★購入して初めて運転されたときは、温風・冷風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、これは燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためです。2～3日でなくなりますので部屋の換気をしながらご使用ください。

★新築家屋の場合は暖房することによって建材から異臭を放つことがあります。このような場合は臭気がなくなるまで部屋の換気をしながらご使用ください。

★室内温度表示は「0」～「35」の範囲で表示されます。ただし、室内温度が0℃未満のときは「L」、35℃を越えるときは「H」が表示されます。

★暖房の場合、室内温度表示が設定温度より高いときは燃焼しません。

★冷房の場合、室内温度表示が設定温度より低いときは冷房運転しません。

★運転中、停電があった後は表示部に「E－00」が表示されますので、運転スイッチを押しなおしてください。

★初めて運転されるとき、またガス配管を取替えられたときは配管中に空気が入っているため点火しないことがあります。この場合には、表示部に「E－01」が表示されますので、運転スイッチを押しなおしてください。この状態を2～3回繰り返しても点火しない場合は、28～30ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」をお読みください。

★電源プラグを差込む前に、運転スイッチが入っていますと、電源プラグを差込んだときに、表示部に「E－00」が表示されますので、運転スイッチを押しなおしてください。

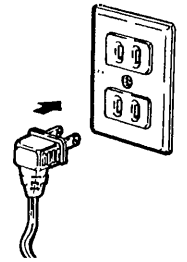
冷房時・ドライ時の使用方法

ご使用前の準備

❶室内ユニットの電源プラグを差込んでください。

（ご注意）

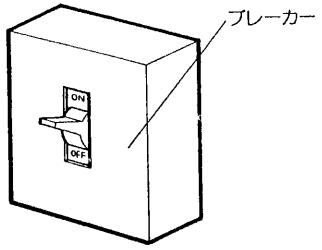
- 電源プラグやコードはぬれた手で触れないでください。



❷室外ユニット（単相200V）用ブレーカーを「入」にしてください。

（ご注意）

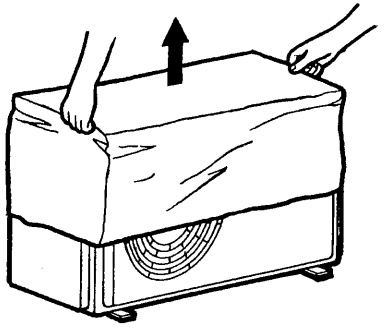
- ブレーカーが「切」のまま運転操作されますと、室内ユニットおよび室外ユニットは送風状態になりますが、圧縮機が運転されず冷房運転はしません。



❸保護カバーがかかっている場合は取外してください。

（ご注意）

- 保護カバーはシステム部材です。
- 保護カバーを取付けたまま運転されますと、室外ユニット用ブレーカーが動作し室外ユニットの運転を停止します。
- 外した保護カバーは必ず保管してください。



4 使用方法③（冷房）

冷房時、基本の取扱い〈設定温度27℃自動運転方法〉

クリーンヒーターエアコンは運転スイッチを押すだけで設定温度27℃の自動運転をしますので、次の手順に従って運転してください。

●運転開始（運転スイッチはゆっくり押して「入」にしてください。早く押すと誤動作し、運転しない場合があります。）

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	操作ドアを開けて運転切換スイッチを「冷房」に切換えます。	運転切換 ドライ 冷房 暖房	設定温度／時 : 室内温度／分 －－ : －－	
2	運転スイッチを押し「入」にします。 パワーモニターランプが点灯し冷房運転を開始します。	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 : 室内温度／分 27 : 29	温度表示 運転ランプ 冷房
3	やがて室内温度を自動的に27℃に保ちます。		設定温度／時 : 室内温度／分 27 : 27	運転ランプ 冷房

●運転停止

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	運転スイッチを押し「切」にします。	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 : 室内温度／分 －－ : －－	

（ドライ）

ドライ時、基本の取扱い

ドライ運転は湿度が高いとき（梅雨時）などに運転してください。
ドライ運転は室内温度を1～3℃下げた状態で湿気を取除きます。

●運転開始

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	操作ドアを開けて運転切換スイッチを「ドライ」に切換えます。	運転切換 ドライ 冷房 暖房	設定温度／時 : 室内温度／分 －－ : －－	
2	運転スイッチを押し「入」にします。 （ドライ運転を開始します。）	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 : 室内温度／分 25	温度表示 運転ランプ ドライ

（ご注意）

- ドライ運転中は室温調節、風量切換はできません。
- ドライ運転中は設定温度は表示されません。

●運転停止

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	運転スイッチを押し「切」にします。	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 : 室内温度／分 －－ : －－	

4 使用方法(4)（暖房）・（冷房）

暖房時・冷房時、応用の取扱い(こんな使いかたができます)

●室温の調節(暖房時、冷房時温感コントロール)

●温感コントロールは暑い、寒い、快適(ちょうどいい)と感じたときにお使いください。
●暖房時、温感コントロールは室内温度表示が8℃～30℃のときに動作します。
●冷房時、温感コントロールは室内温度表示が16℃～32℃のときに動作します。

	ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
寒いと感じたとき	「寒いとき」のスイッチを押します。 ●室内温度に対して設定温度表示が暖房は2℃、冷房は1℃上がります。	寒いとき	設定温度／時　室内温度／分 24 : 22 （暖房時の例）	温感
快適と感じたとき	「快適」のスイッチを押します。 ●室内温度と同じ設定温度になります。	快適	設定温度／時　室内温度／分 18 : 18 （暖房時の例）	温感
暑いと感じたとき	「暑いとき」のスイッチを押します。 ●室内温度に対して設定温度表示が暖房は2℃、冷房は1℃下がります。	暑いとき	設定温度／時　室内温度／分 20 : 22 （暖房時の例）	温感

(ご注意)
●「暑いとき」「寒いとき」のボタンは設定温度と室温の差により設定温度が変化しないことがあります。

●温感コントロールの解除のしかた

室温調節ボタンを押すと解除されます。

●室温の調節(設定温度を変えたいとき)

操作ドアを開けて行います。
初めて運転されるときは設定温度が暖房は22℃、冷房は27℃にセットされています。

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	運転スイッチを押し「入」にします。	運転スイッチ 入　切	設定温度／時　室内温度／分 22 : 10	運転ランプ
2	「温度表示」ランプが点灯しているか確認します。点灯していない場合はモード切換ボタンを押して「温度表示」ランプを点灯させます。	モード切換 温度表示 現在時刻 タイ…転	設定温度／時　室内温度／分 22 : 10	温度表示
3	「上がる」または「下がる」のボタンを押してご希望の温度にセットします。 ●暖房時は「8℃」～「30℃」、冷房時は「16℃」～「30℃」の範囲でセットできます。	室温調節／時刻調節 下がる　上がる ↔	設定温度／時　室内温度／分 20 : 10	温度表示

(ご注意)
●温度調節は一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは再度室温調節をやりなおしてください。
●モード切換ボタンを押して「温度表示」ランプが点灯しない場合は現在時刻をセットしてください。(18ページ参照)
●室内ユニットの前方に障害になるものを置かないでください。前方に障害物を置きますと、温風または冷風を吸い込んで室温調節器がひんぱんに作動して室温調節ができないことがあります。

こんなときは故障ではありません

★室内温度表示の数字は設置条件などにより必ずしも室内温度(他の温度計の表示など)と一致しません。室内温度の目安としてください。

4 使用方法5（暖房）・（冷房）

●セーブ運転のしかた

セーブ運転は設定温度表示と室内温度表示とが同一温度になってから下表のように動作します。

経過時間	暖房運転時	冷房運転時
30分後	室内温度が1℃下がる	室内温度が0.5℃上がる
さらに30分後	さらに室内温度が1℃下がる	さらに室内温度が0.5℃上がる
合計で	2℃下がる	1℃上がる

運転

		ボタン・スイッチ操作	表示部	ランプ
1	運転スイッチを押し「入」にします。	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 室内温度／分 22 : 10	運転ランプ 点灯 温度表示 点灯
2	セーブ運転スイッチを押し「入」にします。	セーブ運転	設定温度／時 室内温度／分 22 : 10	セーブ運転 点灯

- セーブ運転は「おはようタイマー」運転中、「おやすみタイマー」運転中でもセットすることができます。
- セーブ運転中、室内温度表示がかわっても設定温度表示は変わりません。
- セーブ運転中に設定温度を変更したときは変更した設定温度でセーブ運転をします。

（ご注意）

- セーブ運転中に温感コントロールボタンを押すとセーブ運転が解除されます。
- ドライ運転時にはセーブ運転はできません。
- セーブ運転は一度セットすれば記憶していますが電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは再度セーブ運転をセットしなおしてください。
- 室内温度表示の数字は設置条件などにより必ずしも室温と一致しません。室内温度の目安として参考にしてください。

停止

		ボタン・スイッチ操作	表示部	ランプ
1	セーブ運転スイッチを押し「切」にします。	セーブ運転	設定温度／時 室内温度／分 22 : 20	セーブ運転 消灯

●時刻合わせのしかた（「時送り」・「分送り」ボタンを押し続けると表示が連続して変わります。）

現在時刻をセットしてください。

		ボタン・スイッチ操作	表示部	ランプ
1	運転スイッチを押し「入」にします。	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 室内温度／分 22 : 10	運転ランプ 点灯
2	モード切換ボタンを押して「現在時刻」ランプを点灯させます。 ●「0：00」が点滅します。	モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転	設定温度／時 室内温度／分 0 : 00（点滅）	現在時刻 点灯
3	「時送り」・「分送り」ボタンを押して時刻を合わせます。 ●0～23時、0～59分までの表示です。 ●中央の：が点滅します。	室温調節／時刻調節 下がる 上がる ↔	設定温度／時 室内温度／分 6 : 12	現在時刻 点灯
4	運転スイッチを「切」にした場合でも、現在時刻は表示されます。	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 室内温度／分 6 : 12	現在時刻 点灯

（ご注意）

- 時刻合わせは一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは、再度時刻合わせをやりなおしてください。

4 使用方法(6)（暖房）・（冷房）

●暖房時、冷房時「おやすみタイマー」運転のしかた

現在運転していて希望の時刻に運転を停止したいときに使用します。

●現在時刻がセットされていないと「おやすみタイマー」運転ができません。(18ページ参照)

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	モード切換ボタンを押して「おやすみタイマー」ランプを点灯させます。 ●「22：00」が点灯します。	モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転	設定温度／時　室内温度／分 22 : 00	おやすみタイマー
2	「時送り」・「分送り」ボタンを押して希望の時刻にセットします。	室温調節／時刻調節 下がる　上がる	設定温度／時　室内温度／分 23 : 15	おやすみタイマー
3	セット時刻になると自動的に運転を停止します。		設定温度／時　室内温度／分 0 : FF	運転ランプ 暖房 おやすみタイマー (暖房時の例です)

●暖房時「おはようタイマー」運転のしかた(スタディウォーミングアップ機能付)

暖房時「おはようタイマー」にはスタディウォーミングアップ機能が付いています。
スタディウォーミングアップ機能は室温状況を判断し、セット時刻には室温を約18℃に自動的にあたため、やがて室温を自動的に設定温度付近に保ちます。

●現在時刻がセットされていないと「おはようタイマー」運転ができません。(18ページ参照)

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	運転スイッチを押し「入」にします。	運転スイッチ 入　切	設定温度／時　室内温度／分 22 : 10	運転ランプ 暖房
2	モード切換ボタンを押して「おはようタイマー」ランプを点灯させます。 ●「5：00」が点灯します。	モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転	設定温度／時　室内温度／分 5 : 00	おはようタイマー
3	「時送り」・「分送り」ボタンを押して希望の時刻にセットします。 ●0～23時、0～59分までの表示です。 ●中央の：が点灯します。	室温調節／時刻調節 下がる　上がる	設定温度／時　室内温度／分 7 : 15	おはようタイマー
4	セット時刻には室温を約18℃にあたため、その後連続して運転します。		設定温度／時　室内温度／分 22 : 18	温度表示

※燃焼中に「おはようタイマー」にセットしますと、その時点で燃焼が停止します。

〈ご注意〉

スタディウォーミングアップ機能により、お部屋の広さなどに合わせ、運転開始時間は変更されます。

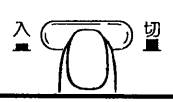
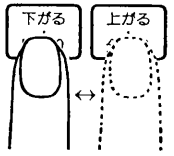
運転前の室内温度	運転開始時間
5℃以下	タイマー設定時刻の約30分前
5～10℃	〃　約20分前
10～17℃	〃　約10分前
18℃以上	セット時刻

4 使用方法(7)（冷房）

●冷房時「おはようタイマー」運転のしかた

ご希望の時刻に自動的に運転を開始したいときに使用します。

●現在時刻がセットされていないと「おはようタイマー」運転ができません。（18ページ参照）

	ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1 運転スイッチを押し「入」にします。	運転スイッチ 	設定温度／時 27 ： 室内温度／分 30	運転ランプ 冷房
2 モード切換ボタンを押して「おはようタイマー」ランプを点灯させます。 ●「5：00」が点灯します。	モード切換	設定温度／時 5 ： 室内温度／分 00	おはようタイマー
3 「時送り」・「分送り」ボタンを押して希望の時刻にセットします。 ●0～23時、0～59分までの表示です。 ●中央の：が点灯します。	室温調節／時刻調節 	設定温度／時 7 ： 室内温度／分 15	おはようタイマー
4 セットした時刻になると冷房運転を開始し、「おはようタイマー」ランプが消え、「温度表示」ランプが点灯します。		設定温度／時 27 ： 室内温度／分 29	温度表示

※冷房運転中に「おはようタイマー」にセットしますと、その時点で冷房運転が停止します。

●「おはようタイマー」セット後に運転したいとき

●モード切換ボタンを押して「温度表示」ランプを点灯させます。

●その後「おはようタイマー」を使用するときにはモード切換ボタンで「おはようタイマー」モードに切換えます。

●「おやすみタイマー」と「おはようタイマー」を同時にセットするには

●現在運転していて「おやすみタイマー」時刻に自動的に運転停止し、その後「おはようタイマー」の運転開始時刻に自動的に再運転することができます。

●「現在時刻」と「おやすみタイマー」時刻、「おはようタイマー」時刻をセットしないと運転はできません。（18～21ページ参照）

	ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1 モード切換ボタンを押して「おやすみタイマー」ランプを点灯させ「おやすみタイマー」時刻をセットします。	モード切換	設定温度／時 23 ： 室内温度／分 15	おやすみタイマー
2 モード切換ボタンを押して「おはようタイマー」ランプを点灯させ「おはようタイマー」時刻をセットします。	モード切換	設定温度／時 7 ： 室内温度／分 15	おはようタイマー
3 モード切換ボタンを押して「おやすみタイマー」と「おはようタイマー」両方のランプを同時に点灯させます。	モード切換	設定温度／時 23 ： 室内温度／分 15	おやすみタイマー おはようタイマー
4 「おやすみタイマー」で自動的に運転を停止し、「おはようタイマー」で自動的に運転を開始します。表示部が温度表示に変わります。		設定温度／時 7 ： 室内温度／分 15	おやすみタイマー おはようタイマー

（ご注意）

●「おはようタイマー」で運転を開始し、その後「おやすみタイマー」で運転を停止することはできません。

●運転スイッチを「切」にしますとタイマー運転はしません。

4 使用方法⑧（暖房）・（冷房）

●毎日同時刻にタイマー運転するには

タイマー時刻は一度セットすれば記憶されますので、以下の方法で行います。

●運転中、モード切換ボタンを押して「おはようタイマー」ランプ、「おやすみタイマー」ランプを点灯させます。

●設定時刻を変更される場合は、「おはようタイマー」運転のしかた、「おやすみタイマー」運転のしかたに従ってやりなおします。（20～22ページ参照）

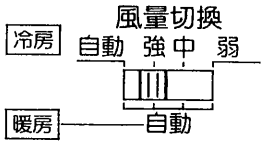
●タイマー運転の解除のしかた

運転中にモード切換ボタンを押して「おやすみタイマー」または「おはようタイマー」のランプを消すと解除となります。

●風量切換のしかた

●暖房運転時およびドライ運転時はつまみの位置に関係なく「自動」運転となり風量の切換えはできません。

●冷房運転時は風量を「自動」・「強」・「中」・「弱」に切換えることができます。お望みの風量で運転してください。



（強運転）

２部屋続きなどの広い部屋で使用する場合は、「強」にすると冷風が強運転となり強い冷房効果が得られます。

（中運転）

「中」にすると強運転と弱運転の中間程度の冷房効果が得られます。

（弱運転）

「弱」にするとゆるやかな冷風となり運転音の静かな冷房運転となります。

（自動運転）

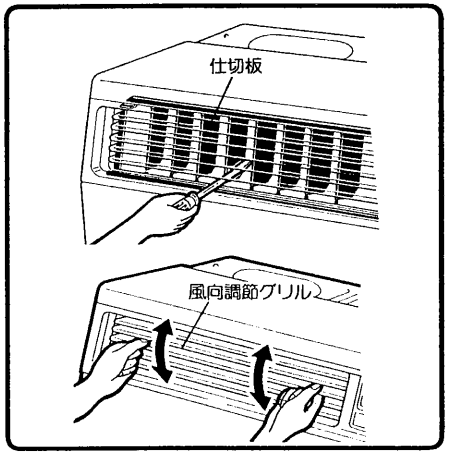
部屋の温度変化をキャッチし、自動的に「強」・「中」・「弱」を切換えます。

●風向き調節のしかた

●風向きを左右に変えるには温風・冷風吹出口の奥の仕切板を棒状のもの（ドライバーなど）で動かします。
風向きの左・右の調節は３～５回が限度です。それ以上動かすと、仕切板が折れるおそれがあります。

●風向きを上下に変えるには風向調節グリルの両端を両手でつまみ、上・下に軽く動かします。

※暖房時は風を下向きに、冷房時は上向きにすると効果的な暖・冷房ができます。



（ご注意）

●暖房運転時は温風・冷風吹出口が熱くなりますので、風向き調節はしないでください。

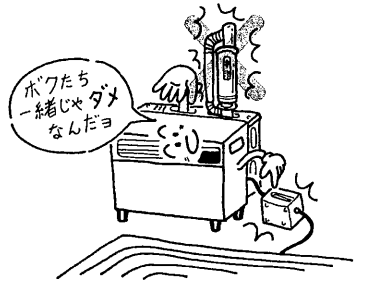
●停電後の使用方法

●停電があったときは、「設定温度」・「設定時刻」等の記憶が消えますので、再通電後、運転スイッチを押しなおして、「設定温度」、「現在時刻」、「おはようタイマー」時刻、「おやすみタイマー」時刻をセットしなおしてください。（16、18～21ページ参照）

使用上の注意

❶器具や排気筒には床暖房用の熱交換器などを取付けないでください。

●器具や排気筒に熱交換器などを取付けると排ガスの水分が結露しやすくなり、結露水が凍結して排気筒をふさぎ、不完全燃焼や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。また、器具の寿命を短くする原因にもなります。



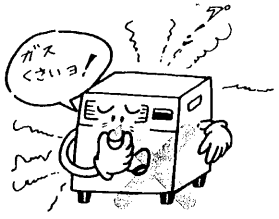
5 日常の点検・手入れ(1)

点検・手入れの際のご注意

日常の点検・手入れにあたっては、次のことを必ず守ってください。
- ●運転スイッチを「切」にして室内ユニットの運転を停止してください。
- ●室内ユニットが冷えてから行ってください。
- ●部屋のガス元栓を閉じてください。

ガス漏れの点検

室内ユニット内部やガス管および接合部などがガス臭くないか点検してください。
- ●万一、ガス漏れに気づいたときは、部屋のガス元栓を閉じて窓や戸を開けガスを外へ出してからお買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご連絡ください。

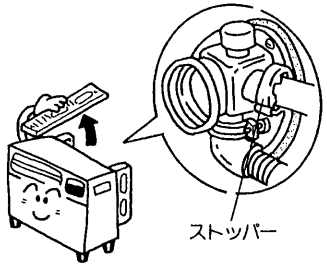


シーズンはじめ

暖　房

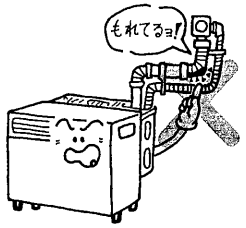
❶給気ホース・排気筒の点検

①給気ホース、排気筒がしっかりつながっているか、また接続箇所がストッパーで固定されているか、ドライバーで背面カバーを外して確認してください。



②延長配管の場合は排気筒にシミができていないか点検してください。

排ガスが室内に漏れますと一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。
万一外れやシミがあったり、破損していたらただちに使用をやめてお買い求めになった販売店に修理依頼してください。



❷移動する場合のご注意

畳替え、じゅうたんの張り替えなどで室内ユニットをいったんずらす場合や、収納したのち再使用する場合はお買い求めになった販売店に設置を依頼してください。この場合、排気筒接続部のOリング(ゴムパッキン)は、キズ付変形等により排ガスが漏れる原因となりますので、すべて交換します。

シーズンはじめ(つづき)

❸給排気筒トップ周囲の点検

①給排気筒トップがクモの巣やビニールの袋などでふさがれていないか点検してください。ふさがれている場合は取除いてください。

冷　房

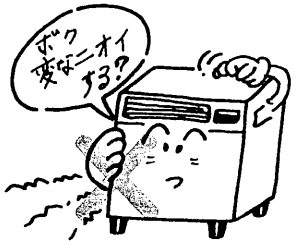
●室外ユニットの点検

室外ユニットに保護カバーがかかったままになっていないか点検してください。
かかっている場合は取除いてください。

使用のたびに

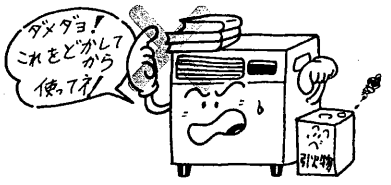
❶排ガスのにおいや目がチカチカしませんか。

- ●排ガスのにおいや目がチカチカする場合は、排気筒や接続部(Oリング部)から排ガスが漏れていることが考えられます。(一酸化炭素中毒のおそれがあり、非常に危険です。)ただちに使用をやめてお買い求めになった販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。



❷周囲の可燃物の点検

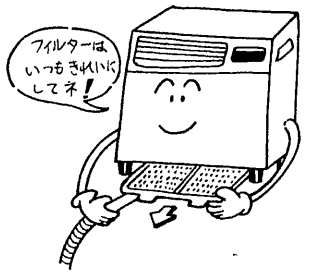
- ●室内ユニットの上や周囲に可燃物を置かないでください。
- ●給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物を置かないでください。



5 日常の点検・手入れ(2)

1週間に1回以上

❶エアーフィルターのお手入れ



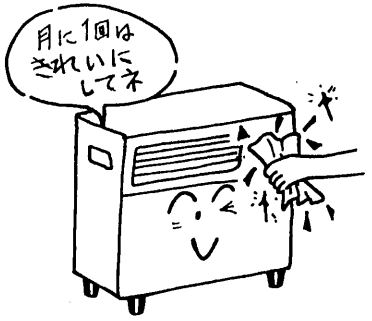
①運転を停止し、温風・冷風吹出口から風が出ていないのを確認してからエアーフィルターを図のように引き出し、掃除機などでほこりを取除いてください。
- 送風中に行うと室内ユニット内部にほこりが入ることがあります。

②清掃後、エアーフィルターを元通り奥まで差込んでください。

〔ご注意〕
- 運転中にエアーフィルターを引き出すとゴミがファンに吸込まれ、異常音の発生や吸い込まれたゴミが焦げることがあります。

1ヶ月に1回以上

❶室内ユニット外装のお手入れ



①温風・冷風吹出口のほこりを、掃除機などで取除いてください。

②室内ユニット全体のほこり・汚れは、乾いたやわらかい布などでふきとってください。

〔ご注意〕
- 揮発性の溶剤（ガソリン・シンナー・アルコール・ベンジン・灯油など）、およびみがき砂などを使用しますと、色があせたりつやがなくなることがありますので、使用しないでください。

6 故障・異常の見分けかたと処置方法(1)

故障・異常早見表

異常が生じた場合は、下表を参照して、お客さま自身で処置してください。

	現象 / 原因	表示部が点灯しない	暖まらない	冷えが悪い	ブレーカーが作動する	安全装置 表示部にE-00を表示する	安全装置 表示部にE-01 E-13を表示する	安全装置 表示部にE-04を表示する	安全装置 表示部にE-12を表示する	安全装置 表示部にE-99を表示する	処置	参照ページ
1	電源プラグがコンセントから抜けている	●									電源プラグをコンセントに確実に差込む	9
2	停電があった					●					運転スイッチを押しなおす	10 13 14
3	部屋のガス元栓が全開になっていない		●				●				部屋のガス元栓を全開にする	9
4	給排気筒トップの先端がふさがっている						●	●			給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取除く	7
5	エアーフィルターにほこりがつまっている			●					●		エアーフィルターを清掃する	27
6	温風・冷風吹出口がふさがれている		●	●					●		障害物を取除く	4
7	運転中に運転切換スイッチを操作した									●	運転スイッチを押しなおす	—
8	ブレーカーが作動している	●									ブレーカーをセットする	—
9	室外ユニットの通風が悪い			●	●						室外ユニットの障害物を取除く	8
10	室外ユニットに直射日光があたっている			●	●						日よけを付ける	—
11	室外ユニットに保護カバーがかかったままになっている			●	●						室外ユニットの保護カバーを取外す	12
12	LPガスボンベが空になっている		●				●				燃料屋さんに連絡する	—

以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは、使用を中止し、お買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。
修理をお申しつけのときには故障の内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるエラーモード(故障・異常状態)をご連絡ください。
※表示部にE-06の表示が出たら、電源プラグをコンセントに差込みなおしてください。
差込みなおしても、まだE-06の表示が出る場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

表示部にこんな表示が出たら販売店までご連絡ください

E-02	E-03	E-05	E-06
E-07	E-08	E-09	E-10

6 故障・異常の見分けかたと処置方法(2)

こんな症状のときは使用を中止し販売店にご連絡ください。

使用される場所や条件、または長期間の使用により、下記のような症状が見られる場合には、使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

暖房

症状	予測される故障
排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする。	排ガスが漏れているおそれがあります。 ●排ガスが室内に漏れますと、一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。
運転開始時や使用中に「ボーン」という大きな音がする。	機器を損傷したり、部品が故障しているおそれがあります。
運転開始しなかったり、使用途中で火が消えることがたびたびある。	部品が故障しているおそれがあります。

冷房

症状	予測される故障
ブレーカーがたびたび動作する。	部品が故障しているおそれがあります。
室内ユニット背面や下側から水が漏れている。	ドレンホースが外れていたり、詰っているおそれがあります。

安全装置が作動したときの処置方法

過熱防止装置

●エアーフィルターの目づまりや温風吹出口に障害物があり、室内ユニット内部が過熱すると、過熱防止装置が作動して運転停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らし、「E-12」を表示します。運転スイッチを「切」にして、エアーフィルターのお手入れ(27ページ参照)または障害物を取除きます。

停電安全装置

●運転中に停電したときは運転を停止し、再び通電しても自動的に運転はしません。
★このような場合には「E-00」を表示します。
★運転スイッチを押しなおせば運転できます。

立消え安全装置

●ガス圧が低かったり、ガスの流れが一時的にしゃ断されたとき
●給排気筒トップの先端部(屋外)に障害物があったり、積雪で周囲が囲われたりして排気ガスが給気口に吸い込まれるようなときこのようなときには運転を停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らし、「E-01」または「E-13」を表示します。
★部屋のガス元栓が全開になっているか、LPガスボンベが空になっていないか
★給排気筒トップの先端部(屋外)に障害物や積雪による囲い状態となっていないかを確認し、処置を行ってください。

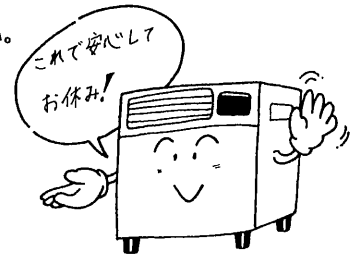
冷房時3分再起動防止装置

●冷房運転中にタイマーをセットしたり冷房運転停止後、運転切換スイッチや室温調節ボタンなどで、すぐに(3分以内)再運転しますと室内ユニットはただちに運転を開始しますが、室外ユニットは運転しません。
これは室外ユニット保護のため安全装置が働くためで約3分後に自動的に運転を再開します。

7 長期間使用しない場合・部品交換のしかた

長期間使用しない場合

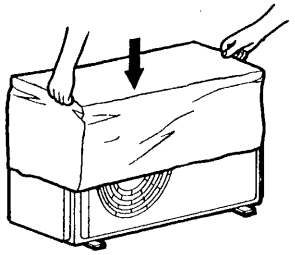
長期間使用しないときは、次の要領でお手入れしてください。



1 電源プラグをコンセントから抜いてガス元栓を閉じてください。

2 室内ユニット、エアーフィルター、温風・冷風吹出口の掃除をしてください。
(27ページ参照)

3 室内ユニット内部の清掃は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。



4 冷房シーズン終了時には、室外ユニットに保護カバー(システム部材)をかぶせることをおすすめします。

5 室内ユニットは取外さないでください。

- どうしても取外して保管するときは湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- 設置するときには必ずお買い求めになった販売店に依頼してください。

部品交換のしかた

お客さまご自身での修理や部品交換はしないでください。お買い求めになった販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口に、お問い合わせいただき、専門技術者の修理をお受けください。

●消耗、劣化しやすい部品

項目	内容
使用時間により交換が必要な部品	各種パッキン、排気筒接続用Oリング(JIS B 2401-4種D P34)、点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
環境により劣化しやすい部品	給排気系部品、ガスフィルター、電気接点部品など

8 仕様

仕様一覧表

50/60Hz

形名	室内ユニット		VGC-5501DF
	組合わせる室外ユニット		VGU-32BF
電源	定格電源	室内ユニット	単相100V 50/60Hz
		室外ユニット	単相200V 50/60Hz
	コンセント定格・形状	室内ユニット	125V 15A ⑪形
		室外ユニット	250V 20A 端子台
	ヒューズまたは、ブレーカ容量		20A
製品	外形寸法		高さ742㎜、幅840㎜、奥行335㎜(背面カバー含む)
	製品質量		室内ユニット 41kg
	電源コードの長さ		2m
安全装置	過熱防止装置		温風センサー、オートカット
	異常過熱防止装置		温度ヒューズ
	過電流保護装置		電流ヒューズ
	停電安全装置		電磁弁
	立消え安全装置		炎検知方式(フレームロッド方式)
	冷房時3分再起動防止装置		電子タイマー
暖房関係	暖房方式		強制対流方式
	給排気方式		密閉式(強制給排気式)
	点火方式		放電点火方式
	消費電力		83/90W
	暖房のめやす	温暖地	木造13畳(21.5㎡)まで コンクリート18畳(30㎡)まで
		寒冷地	木造14畳(23㎡)まで コンクリート21畳(34.5㎡)まで
	排気温度		260℃以下
	給排気筒トップ		ステンレス製・壁穴径φ65㎜
	ガス接続		R3/8ネジ
	ガスの種類及び消費量		都市ガス 4C、5A、5C、6A、6B、7C、13A …… 5,500kcal/h 12A …… 5,150kcal/h 4B …… 5,250kcal/h 5B …… 5,400kcal/h 6C …… 5,200kcal/h LP(プロパン)ガス …… 0.43kg/h
冷房関係	冷房能力		3.2/3.6kW
	冷房のめやす	木造南向き和室	15/17㎡
		鉄筋南向き洋室	22/25㎡
	消費電力	室内ユニット	150/180W
		室外ユニット	1350/1670W
	運転電流	室内ユニット	1.56/1.82A
		室外ユニット	7.5/8.7A

- 暖房のめやすの数値は平成元年11月1日改正告示のJIS S 3031(石油燃焼機器の試験方法通則)の解説書に準拠し、(社)日本ガス石油機器工業会の統一基準によります。
- ガス消費量は標準ガスを使用したときの消費量を表わし、各家庭での消費量とは一致しないことがあります。
- 冷房のめやすの数値は、品質表示法に基づく表示によります。

9 アフターサービス

サービスを依頼される前に

取扱説明書の「故障・異常の見分けかたと処置方法」(28～30ページ参照)に従って調べていただき、なおらないときには、次の処置をしてください。

保証期間中は…

お買い求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・形名・ガスの種類・お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  できるだけ詳しく（表示部のエラーモード(故障・異常状態)数字など）お知らせください。
- 訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは…

お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

転居や設置場所の変更

増改築や転居などによる取外しおよび再設置は、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口(連絡先は同梱の一覧表参照。)へご相談ください。
転居される場合は、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のガス事業者にご相談ください。

- ガスの種類、ガス会社のガス、および電源周波数が異なる地域へ転居する場合は、調整または改造の必要があります。
- 移設の場合は、専門の工事店にご依頼ください。
- 設置場所を変更されるとき、畳替え、じゅうたんの張り替えなどで器具をずらす場合や収納した後、再使用する場合はお買い求めになった販売店に設置を依頼してください。
  この場合、排気筒接続部のOリング(ゴムパッキン)はすべて交換します。

保証について

★この商品には、保証書を別途添付しております。

★保証書は販売店から必ずお受けとりください。

★保証書は保証書に記載の条件、期間の無料修理をお約束するものです。
販売店名、お買い上げ日などの記入をご確認のうえ、大切に保管してください。

★保証期間は、お買い上げ日から本体は１年間です。ただし、燃焼器部分および冷媒回路は３年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

強制給排気式ガスストーブ「クリーンヒーターエアコン」の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後９年です。

- この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

連 絡 先

★サービスを依頼される場合や転居、贈答品の修理その他でお困りの場合などは、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口(同梱の一覧表参照。)にお問い合わせください。

10 定期点検

定期点検が必要です

強制給排気式ガスストーブ「クリーンヒーターエアコン」は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者による定期点検を受けてください。

●定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めになった販売店にご相談ください。

☆定期点検
定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

☆お申し込み先
お客さま→お買い求めになった販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口

☆定期点検費用
定期点検の費用についてはお買い求めの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換及び修理等が必要な場合は、処置内容及び費用についてお客さまにご相談申しあげます。

●定期点検の内容

	定期点検の内容	項目	
1	設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置・使用状態 ●給排気筒の接続とつまり	●ガス漏れ ●給排気筒トップのつまり
2	安全装置、及び運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●操作部品や動く部品の働き	●運転動作の点検
3	環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)	
4	製品の清掃・整備	●本体内 ●温風・冷風吹出口	

地震などの災害が発生したときの点検について

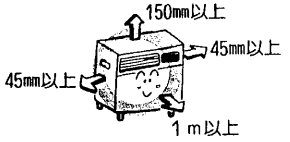
★地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りの外れ、漏れの確認　●ガス配管からの漏れ確認
★点検で異常がみつかったときや点検したのち使用しているとき排ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止して販売店に修理依頼するか、最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へ修理依頼してください。

11 設置工事後の確認と試運転(1)

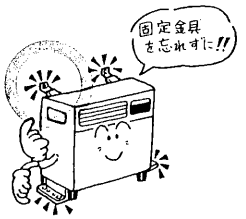
設置工事後の確認

販売店の設置が終わりましたら、念のため販売店に立合ってもらい、下図を参考にして点検してください。
●×印のような取付けは危険であり、火災、不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店に必ず正しい処置をご依頼ください。

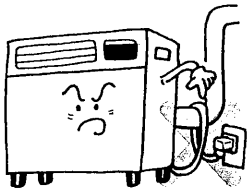
●日常のお手入れ、点検ができるようになっていること。
●床面が平らで丈夫であり、器具の周囲には可燃物・障害物がないこと。



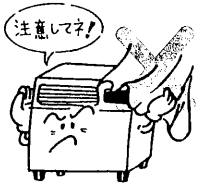
●器具が固定してあること。



●器具の近くに電源コンセントが設けられているか、また電源コードが排気筒に触れていないこと。

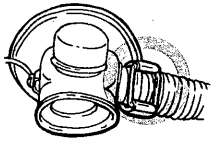


●可燃物、カーテン、洗たく物などが排気筒に接触していないこと。

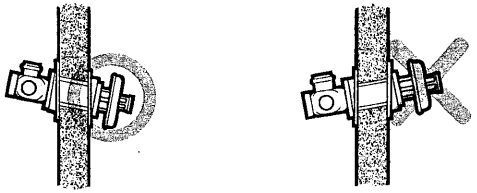


●ガス漏れのないこと。
ガス管および接合部などから臭くないこと。

●給排気筒トップや排気筒の接続部にストッパーが付いていること。



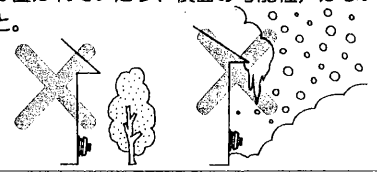
●給排気筒トップの取付けは傾斜フランジが正しく取付けられ、屋外に向って下り勾配になっていること。



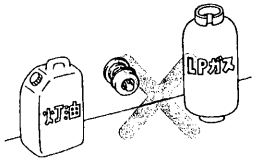
11 設置工事後の確認と試運転(2)

設置工事後の確認(つづき)

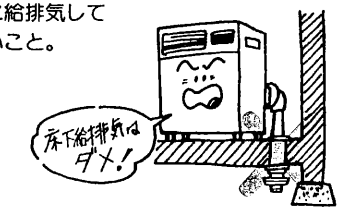
●給排気筒トップの周囲60cm以内に障害物（ものが置かれていたり、積雪の可能性）がないこと。



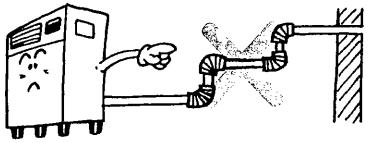
●給排気筒トップの周囲２ｍ以内に危険物（灯油、ガスボンベなど）がないこと。



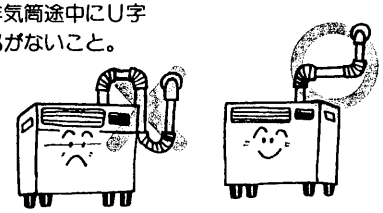
●床下に給排気していないこと。



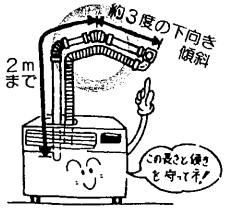
●排気筒の延長は４ｍ以下のこと。曲がりは３ヶ所以下のこと。



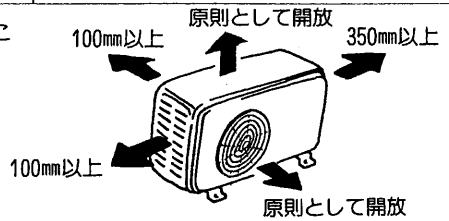
●排気筒途中にU字部がないこと。



●排気筒の延長立上げ寸法は２ｍ以下になっていること。



●室内ユニットの周辺の寸法が守られていること。



試運転

試運転は、販売店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店より説明を受けてください。

運転準備

●部屋のガス元栓を全開にしてください。(暖房の場合)
●電源は室内ユニット単相100V・室外ユニット単相200Vでお使いください。
●ブレーカーを「入」にしてください。
●室外ユニットのストップバルブ(２方弁、３方弁)を必ず全開にしてください。
試運転後も全開のままにしてご使用ください。

暖房運転

■運転切換スイッチを「暖房」に切換えてください。
■運転スイッチを押して「入」にしてください。(10ページ参照)
●運転ランプが点灯します。
●点火後すぐに風が出ます。
■運転スイッチを押して「切」にしてください。(11ページ参照)
●運転ランプが消え、運転停止します。

〔ご注意〕

●室内温度が30℃以上ある場合は「上がる」ボタンを５秒以上押し続けてください。表示部の設定温度が「H」表示になり10分間連続燃焼します。(10分経過後、設定温度は30℃になります。)

冷房運転

■運転切換スイッチを「冷房」に切換えてください。
■運転スイッチを押して「入」にしてください。(13ページ参照)
●運転ランプが点灯します。
●温風・冷風吹出口より冷風が出ます。
■運転スイッチを押して「切」にしてください。(13ページ参照)
●運転ランプが消え、運転停止します。

〔ご注意〕

●室内温度が16℃以下の場合は「下がる」ボタンを５秒以上押し続けてください。
表示部の設定温度が「L」表示になり30分間連続運転します。(30分経過後、設定温度は16℃になります。)

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターエアコンの点検を！

●クリーンヒーターエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●排気パイプがはずれている。
- ●臭いがしたり、目がチカチカする。
- ●本体後部の壁がススで汚れている。
- ●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。
- ●点火しない。使用中炎がたびたび消える。
- ●運転中に「ボーン」という大きな音がする。
- ●その他の異常・故障がある。

使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

形　　名	VGC-5501DF
お買い上げ年月日	
お買い上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111